



平成27年度 1級舗装施工管理技術者試験 〔一般試験〕 解答試案

問	解答	ポイント解説	問	解答	ポイント解説
1	4	粘性土地盤の強度増加を図る	31	4	(1)プライムコートは施工しない(2)ゲ-スアスファルトフィニッシュで敷均す(3)ロード-ローで圧入
2	2	転用回数はJISやJASには定めていない	32	4	スプレッタ
3	3	ケーブルの引っ張り強度	33	1	一時貯蔵ビン又は加熱貯蔵サイロ
4	4	(1)砂の作業効率より低い(2)下り勾配で作業する(3)60m以下である	34	1	段差測定は構造調査ではない
5	2	発注者が損害を負担する	35	2	破損の状態が軽度の場合は0.9
6	2	仕様書の内容を優先する	36	1	空隙詰まりの場合の機能回復
7	3	縦・横断測量に必要な水準点を設置	37	4	路面切削機による切削を行う
8	1	N値は有益な指標である	38	4	直接仮設の内の専用仮設
9	2	平均値から標準偏差を引いた値	39	4	現場代理人および主任技術者
10	1	路盤の構成及び厚さを求めるのに使う	40	1	漠然もしくは不明である
11	4	構築路床の厚さは含めない	41	1	ネットワーク式工程表
12	2	ダミー目地による横収縮目地を設ける	42	2	間接工事費も変化する
13	1	車道用は厚さ8cmである	43	3	届け出の義務はない
14	1	スクリーニングスの説明	44	3	3年間保存
15	3	プラントミックスタイプの説明	45	4	5%以内の勾配で
16	4	P I が大きい材料を使用する場合	46	3	材料の品質の確認や基準値を求める
17	4	(1)回収ダスト分は30%以下(2)2,500KN/m以上(3)中央値から下限値の範囲	47	1	液・塑性限界試験
18	4	骨材の最大粒径を小さくする	48	4	試験の頻度を増して
19	2	促進形のA E減水剤の説明	49	4	個々の測定値は41以上が9箇以上
20	1	修正CBRの値は小さくなる	50	1	$\bar{X} \times 3 = 96.5\%$ 以上
21	1	不連続粒度の混合物	51	3	すべり抵抗測定車
22	4	曲げ試験の説明	52	2	切取り供試体による密度試験
23	4	舗装厚を引いた差だけ	53	3	(1)3年間保存する(2)7日以内に支払う(4)その後30日間は解雇できない
24	1	下層路盤面にプライムコートを施す	54	2	主任技術者を置かなければならない
25	3	骨材の混合後、アスファルトを噴射	55	2	国道に関する規定を適用
26	3	セツフォームで2.5cm、スリップフォームで3~5cm	56	3	(1)25mを越える時は牽引できない
27	3	速すぎると小波、遅すぎると過転圧			(2)左側通行、且つ並進は不可(4)徐行しなければならない
28	1	(2)使用するのが望ましい(3)最大粒径以上(4)切削面はできるだけ平坦に	57	1	又は自然環境を保全するために
29	3	標準的な散布量で施工	58	1	混練重量200kg未満は該当しない
30	4	鉄網の有無によらず全厚を1層で行う	59	2	距離が50mを超えるので該当しない
			60	2	収集運搬業(処理業)の許可は不要